支援プログラム

事業所名：こども発達センターゆり組　　作成日 2025年 3月 27日

<table>
<tr><td colspan="2">理念</td><td colspan="3">身体に障害がある、または運動機能の発達に遅れがあるこどもに身体的・知的・社会的な発達を促します
・こどもたちの笑顔を増やします
・こどもたちの健康を守ります
・こどもたちの可能性を伸ばします</td></tr>
<tr><td colspan="2">支援方針</td><td colspan="3">こどもたちの健やかな成長と心豊かに発達することを願い、こどもと保護者の想いに耳を傾け、一人一人に応じた寄り添った支援を行います</td></tr>
<tr><td colspan="2">時間</td><td>営業時間：8時30分から17時15分
療育時間：9時30分から15時30分</td><td>送迎実施の有無</td><td>無し</td></tr>
<tr><td rowspan="11">本人支援</td><td rowspan="3">健康・生活</td><td>ねらい</td><td colspan="3">・健康状態の維持・改善
・生活リズムや生活習慣の形成
・基本的生活のスキルの獲得</td></tr>
<tr><td>支援内容</td><td colspan="3">1. 登園時の体調を確認する
てんかんや医療的ケアなどがあるこどもに対して看護師を中心に適切に関わる
活動中にこどもの体調の変化をきめ細やかに観察する
2. 1日の生活リズムを身につけられるように、丁寧な声掛けを行う
3. 生活習慣（食事・着替え、排泄など）を受け入れられるよう声掛けを行い、環境を調整する
4. 活動の開始・終わりや活動内容を分かりやすく示し、関わり方を統一する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">運動・感覚</td><td>ねらい</td><td colspan="3">・遊びたい時に動けるような体に育てる
・遊びやすくなるために椅子に座ることに慣れたり、歩行器を使えるようになる
・色々な感覚を知り、好き、嫌いを見つけながら、好きなことには集中して遊べるようになる</td></tr>
<tr><td>支援内容</td><td colspan="3">1. 落ち着く体勢からはじめ、色々な体勢で安心して活動に参加出来るように環境を整える
活動に合わせて、見たり触ったりしやすい大勢を探し、必要に応じて椅子等を活用する
2. こどもの色々な動きの中で、移動できるような動きを育てる
3. 遊びを通して、見たり聞いたり触ったり、五感を使うことに挑戦できる活動を提供する
必要に応じて、眼鏡や補聴器、ICT等の補助を使えるよう支援する
4. こどもの感覚の特性に配慮し、無理なく少しずつ慣れていけるように進めていく
また、不快にならず活動できる環境を調整する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">認知・行動</td><td>ねらい</td><td colspan="3">・色々な感覚や遊びを経験し、自分からやってみたいと表現出来るようになる
・場所や場面の違い、活動の始まりと終わり、順番などを気付けるようになる</td></tr>
<tr><td>支援内容</td><td colspan="3">1. 見る（絵本、パネルシアター）・聞く（楽器の違い、音の高さ）・触る（素材の違い）などさまざまな感覚を育てる活動を提供する
2. 触りたい・動きたい・遊びたいを感じ、表情や体のどこかで表現出来るように支援する
3. 物の使い方(スプーン、クレヨンなど)、素材の違い(小麦粉・糊・寒天など)、色や音の変化に合わせて、体の動きや力加減等を変化できるように支援する
4. 活動の終わりと始まり、順番があることをサインを統一したり、声掛けを行う</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コミュニケーション・言語</td><td>ねらい</td><td colspan="3">・コミュニケーションの基礎を身につける
・コミュニケーションの手段（視線、指さし、スイッチなど）の選択と活用が出来るようになる</td></tr>
<tr><td>支援内容</td><td colspan="3">1. 気持ちの表出(表情、発声)を促し、声や言葉がたくさん出るようにこどもの思いをくみとり、寄り添う
2. 先生や友達に注意を向けることができるよう大きく表現したり、声掛けを行う
3. 表情や視線、サインを用いて、もう1回、やりたいなど意思の伝達ができるようにこどもの動きを細かく観察し、活動の中で繰り返し確認する
4. コミュニケーション機器(スイッチなど)を使って意思が伝達できるように支援する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人間関係・社会性</td><td>ねらい</td><td colspan="3">・家族以外の人との関わり（人間関係）を作る
・遊びを通して、人を意識し、社会性の発達を促す
・小集団へ参加し、仲間づくりを促す</td></tr>
<tr><td>支援内容</td><td colspan="3">1. 先生と信頼関係を築き、楽しさを共有する
2. 関わりの中で相手を意識出来るよう、対面で丁寧な関わりを心がける
3. 感覚運動遊びからつもり遊びなど象徴遊びへの支援を行う
4. 友達と一緒に遊ぶ経験を積み、友達への意識を高め、仲間作りを促す</td></tr>
<tr><td colspan="2">家族支援</td><td>・連絡帳(自宅・園での情報共有)
・登園・降園時に情報共有と必要に応じての発達相談
・懇談、個別支援計画(6か月毎)
・保育参観・参加
・行事参加(招待動物園、運動会、お別れ会など)</td><td>移行支援</td><td>・就学に向けて関係機関との情報共有を行う
・他施設へ移行するための情報提供を行う</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域支援・地域連携</td><td>・医療(リハビリ、小児科等)、教育(特別支援学校)、他施設(児童発達支援、保育園等)と必要に応じて連携を行う
・いもほりや散歩で地域の人と触れ合う
・実習の受け入れを実施し(看護師、理学療法士、保育士等)地域連携を行う</td><td>職員の質の向上</td><td>・虐待防止に関する研修
・身体拘束防止の研修
・感染症に関する研修および訓練
・安全管理に関する研修
(事故防止、応急処置等)
・発達に関する研修　・ケース検討
・新人教育研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な行事等</td><td colspan="3">・入園進級式、誕生日会、運動会、避難訓練（火災、地震、不審者など）、いもほり、クリスマス会、豆まき、卒園式など</td></tr>
</table>